

### ③安否確認

#### ～大地震が発生すると多数の生き埋め者や負傷者が発生することが予想されます～

- ・無事を知らせる場合、「白いタオルなど」を玄関先やドアノブなどに掛けて知らせる。
- ・近隣同士で安否確認を行い、救出が必要な場合は住民が協力して救出救助する。



### ④初期消火

#### ～火災を大きくしないためには、出火から数分間勝負です～

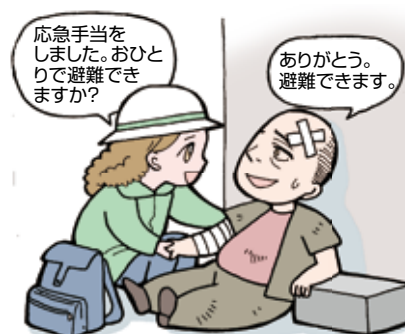
- ・大きな声でまわりの人に知らせ応援してもらい、消火器などですぐに消火する。
- ・マンション等の集合住宅は非常ベルなどでも知らせエレベーターは使わない。
- ・天井まで火が回るようであれば安全のため避難する。



### ⑤救出・救護活動

#### ～大災害になるほど消防署等の救助は遅れます。住民同士で協力しながら救出しましょう～

- ・建物の倒壊などで救出・救護を要する人がいる場合、付近の人達と協力し合って、ただちに救出・救護活動を行う。
- ・軽症の場合は自主防災組織など住民がまず応急手当を行い、重症者等は最寄りの医療機関に搬送したり、消防・救急隊の応援を要請する。
- ・フォークリフトやバールなど有効な資器材を所有する企業などへ日頃から協力の相談をしておく。



## ⑥避難行動

### ～日頃から避難場所や避難ルートを確認しておきましょう～

- ・自分と家族などの身の安全を確保し、避難が必要な場合は早めに避難しましょう。
- ・高齢者、障がい者、子どもや負傷者など自力では避難出来ない人の避難に協力する。



※平成26年3月1日実施「福島区一斉避難訓練」での様子（福島公園）

## 防災行政無線のサイレンパターンについて

大阪市では、津波警報など重要な緊急情報については、警報音として小学校の屋上などに設置したスピーカーからサイレンを用いた放送で行います。サイレン（警報音）が聞こえましたら、テレビやラジオをつけ、最新の情報を入手し、落ち着いて、身を守る行動をとりましょう。また周囲の方にも声をかけ、助け合いましょう。

緊急事態の種類	サイレン(警報音)パターン	とっていただく行動
・テロやゲリラなど武力攻撃に関する警報 ・弾道ミサイル攻撃に関する警報	<b>サイレン14秒吹鳴</b>	屋内に入り、テレビやラジオをつけ、詳しい状況を確認してください。
大津波警報	<b>サイレン3秒吹鳴</b> 2秒休止 <b>サイレン3秒吹鳴</b> 2秒休止 <b>サイレン3秒吹鳴</b>	海岸や河川から離れ、津波避難ビルなど丈夫な建物の3階以上に避難してください。
津波警報	<b>サイレン5秒吹鳴</b> 6秒休止 <b>サイレン5秒吹鳴</b>	
避難指示	<b>サイレン15秒吹鳴</b> 10秒休止 <b>サイレン15秒吹鳴</b> 10秒休止 <b>サイレン15秒吹鳴</b>	お近くの災害時避難所など、安全な場所に避難してください。 ※河川の氾濫など、避難所に避難するより近くの3階以上の建物に避難することの方が安全な場合があります。普段から身を守る行動について確認しておきましょう。
避難勧告	<b>サイレン10秒吹鳴</b> 10秒休止 <b>サイレン10秒吹鳴</b> 10秒休止 <b>サイレン10秒吹鳴</b>	
緊急地震速報 (震度5弱以上)※1	緊急地震速報チャイム音	ただちに身を守る適切な行動をとりましょう。

※1 緊急地震速報は、震源が近く、揺れの到達時間が早いと予測される場合、揺れてから放送されることになるため、放送しない場合があります。